

平成22年11月30日

「高レベル放射性廃棄物処分シンポジウム」の取材申込について

(社)日本原子力産業協会は、関西原子力懇談会、中部原子力懇談会、東北原子力懇談会、北陸原子力懇談会、(社)茨城原子力協議会と共に、平成22年12月17日(金)、日本科学未来館7階「みらい CAN ホール」で、「高レベル放射性廃棄物処分シンポジウム — 高レベル放射性廃棄物処分問題の政治の役割について —」を、以下の通り開催致します。つきましては、みなさまからの取材の申し込みをお受けいたします。

1. 日 時:平成22年12月17日(金)13時00分～17時30分
(受付開始は、12時20分～)
2. 場 所:日本科学未来館 7階「みらい CAN ホール」
(東京都江東区青海2-3-6)
3. 主 催:(社)日本原子力産業協会、関西原子力懇談会、中部原子力懇談会、
東北原子力懇談会、北陸原子力懇談会、(社)茨城原子力協議会
4. プログラム:(詳細は別紙参照)
 - ①開会挨拶
 - ②基調講演
「地域づくりの新たな視点 — 政府部門との協働をめざして —」
増田寛也 野村総合研究所顧問、前総務大臣、前岩手県知事
 - ③各パネリストからの意見(15分/人)
 - ④パネルディスカッション:「高レベル放射性廃棄物処分問題の政治の役割について」
 - ⑤閉会

<添付資料>

- ・ 「高レベル放射性廃棄物処分シンポジウム」の開催にあたって
- ・ プログラム
- ・ 日本科学未来館7F「みらい CAN ホール」への案内図
- ・ 取材申し込み用紙(FAX用)

<本件お問い合わせ先>

(社)日本原子力産業協会 情報・コミュニケーション部 木下
電話:03-6812-7103(情報・コミュニケーション部 直通)
電子メールアドレス:media2@jaif.or.jp

◆「高レベル放射性廃棄物処分シンポジウム」の開催にあたって

社団法人 日本原子力産業協会(原産協会)では、4年前から高レベル放射性廃棄物の処分問題について、小グループによる草の根の理解活動を全国大に展開してまいりました。この場で参加者の皆様から頂いた貴重なご意見等を参考にしながら、これまで2回にわたり高レベル放射性廃棄物の処分に関するシンポジウムを開催しており、今回が3回目になります。

過去2回のシンポジウムでは、処分場の立地に関する調査を受け入れるに当たっての大義の重要性、高レベル処分問題に関する国民レベルでの理解の必要性、および地域のニーズに合った地域振興策の必要性、などについて議論を積み重ねてまいりました。

高レベル放射性廃棄物の処分問題を一步でも前に進めるためには、このような議論を更に深めるとともに、この問題が地域に根付く環境(地域から頂いた関心の芽が育つ環境)をしっかりと作ることが必要です。そして、この環境整備は、政治の役割に期待するところが大きいと言えます。

そこで今回のシンポジウムは、高レベル廃棄物処分に関して、地域の関心の芽が育つ環境を作り上げるための政治の役割について考えるシンポジウムを計画しました。基調講演やパネルディスカッションを通して皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

参 考

◆ 社団法人 日本原子力産業協会について

社団法人 日本原子力産業協会(略称:原産協会、会長:今井敬・日本経済団体連合会名誉会長、新日本製鐵名誉会長)は、わが国のエネルギー問題における原子力利用の重要性を踏まえ、国民的立場に立って原子力の平和利用を進めるとの産業界の総意に基づき、多岐にわたる民間産業界の中核として、直面する課題の解決に向けて主体的に行動することを目的とする公益法人です。また、政府の行う原子力開発利用計画の策定と政策の推進に協力し、原子力の平和利用を促進することによって、わが国の国民経済と福祉社会の健全な発展向上に資することを目指しています。

◆ プレス発表資料配布先

- エネルギー記者会
- 文部科学省 ・科学記者会 ・文部科学記者会
- 経済産業省 ・ペンクラブ ・経済産業記者会
- 環境省記者クラブ

高レベル放射性廃棄物処分シンポジウム プログラム

— 高レベル放射性廃棄物処分問題の政治の役割について —

開会挨拶(13:00~13:05)

○ 服部 拓也 (はっとり たくや) (社) 日本原子力産業協会 理事長

基調講演(13:05~14:05)

「地域づくりの新たな視点 — 政府部門との協働をめざして —」

○ 増田 寛也 (ますだ ひろや) 野村総合研究所顧問
前 総務大臣、前 岩手県知事

各パネリストからの意見 (15分/人) (14:05~15:05)

< 議長 >

○ 鳥井 弘之 (とりい ひろゆき) 元日本経済新聞社 論説委員

< パネリスト >

○ 西川 正純 (さいかわ まさずみ) 前 新潟県柏崎市長

○ 宮田 俊範 (みやた としのり) 中国新聞社総合編集本部 経済部長

○ 森田 朗 (もりた あきら) 東京大学法学部教授

○ 八木 絵香 (やぎ えこう) 大阪大学コミュニケーションデザインセンター
特任准教授

休 憩(15:05~15:25)

パネルディスカッション(15:25~17:30)

「高レベル放射性廃棄物処分問題の政治の役割について」

閉会(17:30)

<開催会場>

日本科学未来館 7階「みらいCANホール」

(東京都江東区青海2-3-6 TEL 03-3570-9151(代表))



- 新交通ゆりかもめ(新橋駅～豊洲駅)
「船の科学館駅」下車、徒歩 約5分
「テレコムセンター駅」下車、徒歩 約4分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線(新木場駅～大崎駅)
「東京テレポート駅」下車、徒歩 約15分
- 臨海副都心内を巡回する無料バス(11:00より20:00の間、15～25分間隔で運行)
「日本科学未来館」下車
- 路線バス
品川駅東口、浜松町駅(バスターミナル)、大井町駅、大森駅、門前仲町駅、錦糸町駅、森下駅からの路線バスなどがあります。

***** 返信用 F A X *****

送付先：(社)日本原子力産業協会

情報・コミュニケーション部 木下 行

(FAX: 03-6812-7110)

なお、メールでの回答でも結構です。media2@jaif.or.jp

2010年 月 日

高レベルシンポジウム放射性廃棄物処分シンポジウム

取材申し込み回答票

【2010年12月17日(金)】

「高レベル放射性廃棄物シンポジウム
—高レベル放射性廃棄物処分問題の政治の役割について—
(13:00~17:30) 日本科学未来館みらいCAN ホール

出席

欠席

芳名

御社名

ご連絡先 電話番号：

ご連絡先 メールアドレス：

高レベル放射性廃棄物処分シンポジウム取材のお申し込みは、12月14日(火)までにお
願います。